

増税は現代の我々の生活にとって切実な問題であるが、米遣い経済の江戸時代においては、コメを中心とした田畑への課税が重く農民にのしかかっていた。それに加えて、村役人には年貢米を所定の米蔵へ納める責任があった。そして、江戸後期、河内国幕府領の年貢米の廻送先として割合が高かったのは、江戸浅草御蔵である。

江戸時代を通じて幕府領であった河内国若江郡御厨村の庄屋加藤勘左衛門は、安政4年(1857)に年貢米を江戸へ廻送する際の郡中の代表者である納庄屋に選ばれ江戸へ赴いている。今回の企画展では幕府領年貢の江戸廻米に焦点を当て、封建社会を支えた租税としてのコメを通して当時の社会を考えてみたい。

① 関連講座「江戸廻米と現代の米穀流通」(連続3回)

- 10月22日①「河内国幕府領の江戸廻米」
池田治司(本館学芸員)
- 10月29日②「江戸浅草と御米蔵」
滝口正哉(徳川林政史研究所研究員)
- 11月12日③「大阪府における水稻栽培の歴史と米の流通」
大西安文(大阪府農業協同組合中央会 大阪農業振興サポートセンター 特別アドバイザー)
- 受講料:2,000円(全3回) 定員:50名(各回とも)
時間:午後2時00分～3時30分 受講方法:申込制
場所:4号館4階449教室(10/22・10/29)
ゲートウェイ4階ネットワークレクチャールーム(11/12)

② 文化庁支援事業 シンポジウム

- 11月19日①「江戸時代のコメと納税
—幕府領年貢の江戸廻米と納庄屋—」
- 開会挨拶◎片山隆男(本学教授・副学長)
- I 部◎基調講演(午後2時00分～3時00分)
「江戸時代のコメと納税」 藪田 貴(兵庫県立歴史博物館館長)
- II 部◎パネルディスカッション(午後3時00分～4時30分)
進行:池田治司(本館学芸員)
パネリスト:藪田 貴(兵庫県立歴史博物館館長)
小倉 宗(関西大学准教授)
滝口正哉(徳川林政史研究所研究員)
中塚華奈(本学専任講師)
- 受講料:無料 定員:300名
場所:ユニバーシティホール蒼天 受講方法:申込制

③ 東大阪市共催事業 秋季企画展とともに楽しむコンサート

- 11月20日①「博物館×オンガク 歴史と音楽の化“楽”反応!コンサート」
- 出演者:大阪商業大学吹奏楽部 参加費:無料(当日先着240名)
新喜多中学校吹奏楽部 時間:午後1時30分～2時55分
小山亜希(ヴァイオリン) 場所:ユニバーシティホール蒼天
北口 功(クラシックギター)

④ 見学会

- 11月26日①「旧御厨村内を探访する」
- 展示会出品資料の旧蔵地である旧御厨村内の御厨天神社や西楽寺をはじめとする史跡を探访する。
- 参加費:無料 定員:30名
時間:午後2時00分～3時30分 受講方法:申込制(申込締切)
場所:旧御厨村地域(本館前集合) 11/16(水)

⑤ 小阪まちゼミの会連携事業 学芸員による展示解説

- 11月10・17日①
- 参加費:無料 定員:30名
時間:午後2時00分～2時30分 受講方法:申込制
場所:商業史博物館企画展示室 (10月25日から受付開始)



東海道五十三次 関
(関西大学図書館蔵)



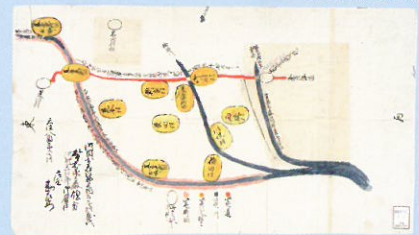
御廻米着船要用留(本館蔵)



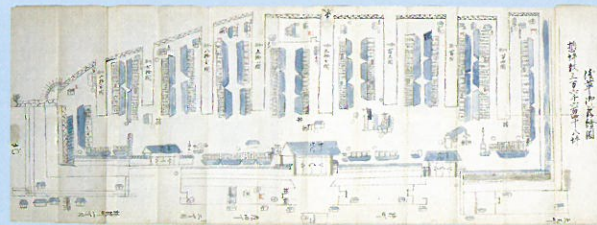
諸国御廻米御仕書
(大阪府立大学経済・経営・法律系図書室蔵)



火打石(個人蔵)



河内国若江郡之内九ヶ村絵図(本館蔵)



浅草御蔵絵図(江戸東京博物館蔵)[参考出品]

⑥ 関連行事 上方伝統文化体験講座

- 10月28日①「上方歳時記・黒御簾音楽」
- 参加費:無料(先着50名) 場所:関西大学博物館
時間:午後2時00分～4時00分
問合せ:関西大学博物館
〒564-8680 大阪府吹田市山手町3-3-35
TEL:06-6368-1171 FAX:06-6388-9928
E-mail:hakubutsukan@ml.kandai.jp

FAX・Email・電話にてお申込みください。(A)①②③④のみ申込制。
⑤は関西大学博物館へお問合せください。
①住所 ②氏名 ③連絡先(電話番号またはEmailアドレス)
を明記の上、大阪商業大学学術研究事務室まで(先着順、定員
になり次第申込締切)所在地、TEL、FAXは下記と同じ
hiken@oucow.daishodai.ac.jp



駐車場はございません。公共の交通機関をご利用ください。

【交通のご案内】
近鉄奈良線
「河内小阪駅」下車
(準急・区間準急・
普通電車停車)
北東へ徒歩5分